

「食材を上手に活用」
 コロナ禍ということもあって、テイクアウトを利用することもありますが、つい多めに頼んでしまっていたんです。それも、食べきれないように注文を少なめに、家に残っている食材で、副菜をもう一品作るようになりました。
 買い物だけでなく、作りすぎたり、残ってしまったときには、あらかじめ食べられる量だけを取り分けることや冷凍保存を上手に活用することも大切ですね。少しの心掛け

は、気付かないうちに傷んで食べられなくなっていることがあります。一つだけ冷蔵庫の奥に残っていて気付かなかったということもあるのです。冷蔵庫の整理は大切ですね。
 「食品ロスダイアリー」に取り組む前は、家にある食品を余分に買ってしまったり、まとめ買いをしても使いきれずに残ってしまったりがありました。取り組みを始めてからは、買い物前に冷蔵庫の食材を確認して、何を買うか決めることを心掛けるようになりました。「新鮮なものを新鮮なうちに消費したい」という思いが強くなり、食べきれる分だけを買うように変わったので、すくよかったです。



ちよどよいを「知る」「作る」「食べる」



「食品ロスダイアリー」に取り組んだことで、使いきれない食材やその量などが分かり、我が家の食生活を見直す大きなきっかけになりました。家族が食べられる量を知って、必要な量を買うことや作ることが習慣になったので、これからは続けていきます！

で、家庭から出る食品ロスの量は変わってくと実感しました。



「食品ロスダイアリー」...捨ててしまった食品や料理とその量を記録することで、家庭での食品ロスの発生状況が分かります。



市ホームページで「食品ロスダイアリー」をダウンロードできます

☎ 537-5687

「記録すること」で気付く

同じような食品を無駄にしているなど、なんとなく思っていたのですが、捨ててしまった食品とその量、理由を「食品ロスダイアリー」に記録することで、改めてそのことに気付きました。いつも買っている食品や家族用にセットで買っている食品の余りなど

国内で発生していると推計される食品ロスの量は、年間「600万トン」。
 食べ残しや売れ残り、期限切れなどで廃棄され、多くの食品ロスが発生しています。
 食べ物を大切に一人ひとりの行動が食品ロスの削減につながっていきます。
 今回は「3きり運動」のテレビCMでおなじみの飯倉寛子さんに、家庭での食品ロス削減の取り組みを振り返ってもらいました。



飯倉 寛子 さん (OBS大分放送 アナウンサー)

事前に、お問い合わせを！ 生ごみ処理機器の 購入補助金申請

生ごみ処理機器を購入し、補助金の申請を検討されている場合は、購入前に必ずお問い合わせください。

申請額が予算枠に達した場合には、年度途中でも受け付けが終了となりますのでご注意ください。



☎ 537-5687

守ってください！ スプレー缶・ガス缶類、ライター類の出し方

45リットル以内の透明・半透明の袋で出してください。
 (別々の袋で同じ収集日に出してください)

【スプレー缶・ガス缶類】

中身は使いきり、穴を開けずに(使い残しは、必ず屋外で出しきってください)



【ライター類】

使いきり、着火する部分を水でぬらして



「スプレー缶・蛍光灯等」以外の日に出すと危険です！
 火災の原因になります。



☎ 568-5763

大分市公式アプリ 「ごみ関連」機能をご利用ください！

大分市公式アプリ内に、ごみの分別・収集に関する「ごみ関連」の機能を新たに追加しました。

ごみ収集情報通知や家庭ごみ分別事典、ごみ収集カレンダー等、ごみ分別・収集に関する機能が充実しています。ご家庭でのごみ出しの際にご利用ください。

ごみ分別・リサイクルに関すること
 ☎ 537-5687

システムに関すること
 ☎ 574-6182



登録した自治区のごみ収集カレンダーを表示！

検索すると、品目ごとの詳しい出し方が分かる！

指定の時刻に「今日・明日」収集するごみの種類を通知！

ダウンロードはこちらから▼



iOS版



Android版